

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）				
地区名	やまつなかわだいらい6しせん 山綱川第6支川				
事業箇所	おかざきしふじかわちよう 岡崎市藤川町				
事業のあらまし	山綱川第6支川は岡崎市藤川町に位置し、保全対象として人家39戸及び重要交通網である国道1号（第1次緊急輸送路）を抱える土石流危険渓流である。 土石流の危険性の高い渓流であり、人命などを守るため、土石流対策施設の整備を推進する。				
事業目標	【達成（主要）目標】 ・ 人家39戸及び重要交通網である国道1号（第1次緊急輸送路）を土砂災害から保全する。 【副次目標】 ・ なし				
計画変更の推移		事業採択時 (2019年度)	再評価時 (2022年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2019年度～2021年度	2019年度～2026年度	用地難航によるもの	
	事業費（億円）	2.5	2.8		
	経費内訳	工事費	2.0	2.0	
		用補費	0.2	0.2	
		その他	0.3	0.6	
事業内容	砂防堰堤工1基 渓流保全工L=26m	砂防堰堤工1基 渓流保全工L=26m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・ 保全対象を土石流から保護する必要がある。 【再評価時の状況】 ・ 保全対象に変化はない。 【変動要因の分析】 ・ なし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。 【理由】 事業着手から必要性について変化はないため		

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】									
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	
	工種 区分	調査・設計	←	→							
		用地補償			←	→					
		工事						←	→		
		・堰堤工						←	→		
		・溪流保全工							←	→	
	事業費 (億円)	前回計画	2.5								2.5
		実績	0.8								0.8
		今回計画	0.8		2.0						2.8
	【進捗率】										
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率						
		計画 【①】	実績 【②】	達成率 (%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率 (%) 【②÷③】					
	堰堤工 (基)	1	0	0	1	0					
	溪流保全工 延長 (m)	26	0	0	26	0					
	事業費(億円)	2.5	0.8	32	2.8	29					
	工事費	2.0	0.0	0	2.0	0					
	用補費	0.2	0.2	100	0.2	100					
	その他	0.3	0.6	200	0.6	100					
	【施工済みの内容】										
	・なし										
	2) 未着手又は長期化の理由	・事業用地内における民境界の確定が不調となっているため、工事着手が行えない状況である。									
	3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・用地整理の難航 【今後の見込み】 ・地権者に対して継続して用地交渉を行い、同意を得た上で事業を進めていく。									
	判定	B A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。									
		【理由】 今後、速やかに用地交渉、工事着手することにより、計画通りの完成が見込まれるため。									
Ⅲ 対応方針											
	継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。									

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。